

科目名	成人急性期看護学演習Ⅱ Acute Care Adult Nursing SeminarⅡ		担当教員 (研究室番号)	玉田 章 (307) 脇坂 浩 (306) 長谷川 智之 (302)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	玉田:akira.tamada@mcn.ac.jp 脇坂:hiroshi.wakisaka@mcn.ac.jp 長谷川:tomoyuki.hasegawa@mcn.ac.jp						
履修年次	1年次 後期	科目区分	専門科目		選択区分	コース 必修	単位数 (時間)	2(30)		授業形態	演習	科目等履修生	否
											遠隔授業	否	
科目目的	クリティカルな状況にある人の生命維持に重要な一次・二次救命処置の理論的背景を理解するとともに、一次・二次救命処置の実践と指導方法を習得する。また、クリティカルな状況にある人の生命維持に重要な感染制御の理論的背景を理解し、自然災害、集団感染に関連した感染制御方法を習得する。												
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追究していきける研究能力を身につけている。											
	関連するDP	4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。											
到達目標	1. 一次、二次救命処置についての理論的背景を理解することができる。 2. クリティカルな状態の患者が有する全人的な苦痛を理解し、そのケア・処置などを理解することができる。 3. 学部学生に一次救命処置の技術習得のための指導を実践することができる。 4. 自然災害、集団生活(入院生活)に関連した感染伝播動態の解析方法と感染制御方法を理解することができる。												
成績評価方法 (基準)	プレゼンテーション(60%)、レポート(40%)												
教科書	AHA心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドラインアップデート2015, シナジー, 2016.												
参考書等	必要時、紹介する。												
受講者へのメッセージ													
備考	課題については、説明資料として作成し提出すること。これをレポートとして評価する。												
回	学習項目		学習内容							主担当教員	授業方法		
1回	一次・二次救命処置の内容及びエビデンス①		AHAガイドラインのこれまでの変遷やガイドラインが示す心肺蘇生における「エビデンスレベル」およびガイドライン2015による「心肺蘇生の概要」を詳読し、ガイドライン2015の特徴を学ぶ。							玉田	演習		
2回	一次・二次救命処置の内容及びエビデンス②		AHAガイドラインのこれまでの変遷やガイドラインが示す心肺蘇生における「エビデンスレベル」およびガイドライン2015による「心肺蘇生の概要」を詳読し、ガイドライン2015の特徴を学ぶ。							玉田	演習		
3回	一次・二次救命処置の内容及びエビデンス③		ガイドライン2015に示される成人の一次救命処置およびAED等の電気的治療の方法を詳読し、その具体的方法を検討する。							玉田	演習		
4回	一次・二次救命処置の内容及びエビデンス④		ガイドライン2015に示される成人の一次救命処置およびAED等の電気的治療の方法を詳読し、その具体的方法を検討する。							玉田	演習		
5回	一次・二次救命処置の内容及びエビデンス⑤		ガイドライン2015に示される成人のBLS(Basic Life Support: 一次救命処置)をレザシアン人形を用いて実践し、具体的方法を習得する。							長谷川	演習		
6回	一次・二次救命処置の内容及びエビデンス⑥		ガイドライン2015に示される二次救命処置を詳読し、その具体的方法を検討する。							玉田	演習		
7回	応急処置について①		ガイドライン2015に示される応急処置を詳読し、その具体的方法を検討する。							長谷川	演習		
8回	応急処置について②		危機的状況にある患者への全人的ケアとは何かを検討する。							長谷川	演習		
9回	自然災害時の感染制御について		国立感染症研究所の感染症リスクアセスメントツールを用いた報告を参考に、災害特異的な感染症と避難所などの集団生活に起因する感染症の制御方法について検討する。							脇坂	演習		
10回	医療施設における感染対策サーベイランスについて		厚生労働省院感染対策サーベイランス(JANIS)事業と関連する報告を詳読し、医療施設における適切なサーベイランスと感染制御について検討する。							脇坂	演習		
11回	感染症アウトブレイクのコントロールについて①		国立感染症研究所の感染症疫学センターの資料を参考に、感染症アウトブレイク(集団感染)の解析に必要な、記述疫学・分析疫学、疫学に必要な統計学を学ぶ。							脇坂	演習		
12回	感染症アウトブレイクのコントロールについて②		インフルエンザ、ノロウイルスを中心とした集団感染の事例報告を参考に、感染伝播動態の解析方法と感染制御方法について検討する。							脇坂	演習		
13回	一次救命処置(BLS)の指導実践①		学部学生が行う蘇生人形を使用したBLS(Basic Life Support: 一次救命処置)の演習において技術習得のための指導内容を把握する。							長谷川	演習		
14回	一次救命処置(BLS)の指導実践②【成人看護学方法Ⅰで実践】		学部学生が行う蘇生人形を使用したBLS(Basic Life Support: 一次救命処置)の演習において技術習得のための指導を実践する。(事後レポート:「指導実施の振り返り」)							玉田	演習		
15回	隔離法を受ける感染患者の看護について		感染伝播予防のために突如隔離を受けた患者の心理に関する文献を詳読し、隔離患者の看護方法について検討する。							脇坂	演習		